



令和6年1月31日 横浜市立緑小学校

# 緑小だより 2月号



ふれあい 学びあい みとめあう みどりっ子

Mail : y3midori@edu.city.yokohama.jp URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/midori>

## 地震が起きたら

校長 寺澤 みゆき

今年は、元日に能登半島を中心に大きな地震がありました。保護者や地域の皆様、皆様の身近な方々の中にも被災されたり、怖い思いをされたりした方がいらっしゃるかと思います。謹んでお見舞い申し上げます。また、1月28日(日)の朝には、横浜でも震度4の地震があり、驚かれた方もいらっしゃると思います。

日本は地震大国と呼ばれており、2016年から2020年の期間で見ると、全世界で起こったマグニチュード6以上の地震の17.9%が日本周辺で発生しています。そして、地震が繰り返し起こる活断層が、日本には約2000あると推定されています。(一般財団法人 国土技術研究センターホームページより)

そういったことから、地震からは逃れることができない国に住んでいるということ認識し、被災地に思いを馳せながらも、私たちの地震への意識を高めていく必要があると強く感じました。

小学校では、4年生の社会科で災害から生活を守る地域の取組を学習します。先日、緑小学校の4年生も、緑区役所の方を講師に招き、自分たちが暮らしている地域の防災について学びました。また、教室を回っている中でも、デジタル教材を使用し、生活のよくある場面を取り上げ「この場面で地震が起こったらどう行動したらよいか」ということについて意見を出し合い、皆で考える授業が行われているのを見ました。

定期的に行っている避難訓練では、「お、か、し、も、す、き」の約束を守り、850人を超える児童が一斉に動いているとは思えないくらい、静かに整然と避難ができています。避難訓練としては、自信をもって満点がつけられるレベルです。ただ、地震はいつ、どこで起きるか分かりません。授業時間においても授業中とは限りませんし、休日や放課後にある可能性も大いにあります。4年生が学習していたように、その時ごとに、自分で考え行動する力をつける必要があります。

1月の朝会ではそれを伝えるべく、子ども防災ガイド(毎日小学生新聞2024年1月8日)を紹介し、しばらく掲示していました。(司書の須田先生が、図書館でも掲示してくれています)

地震が発生した時に、何に気を付けなければいけないかを大変わかりやすく書いていたので、学校便りではそれに補足をつけて、ご紹介します。

### 【地震が起こった時は、2段階に分けて行動する。】

- ① 危険なものから離れる(身を守る) ② 揺れが収まるまで待つ(避難する)

| 身の回りの危険なもの(地震発生時に確認) |   |  |  |
|----------------------|---|--|--|
| 危険                   | 落ちてくる   | 倒れてくる  | 動いてくる  |
| 屋内                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>高い所に置いてあるもの</li> <li>照明</li> <li>時計</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>背の高い棚、本棚</li> <li>テレビ</li> <li>冷蔵庫</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>キャスター付きの家具など</li> <li>戸棚の戸や引き出し</li> <li>ピアノ</li> </ul> |
| 屋外                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>看板</li> <li>街灯</li> <li>切れた電線</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>ブロック塀</li> <li>自動販売機</li> <li>電信柱</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>斜面や崖</li> <li>津波</li> <li>川の水</li> </ul>                |

2月の避難訓練は火災想定ですが、「事前予告なし」で行います。これまでの訓練で学んだことを生かし、発災時に命を守るためには何に気を付けるのがよいか考え、行動できる力を育てていきたいと思っています。